

令和3年1月17日(日)

主催：(一般社団法人)障がい児成長支援協会

共催： 青少年児童療育支援協会

～特別支援専門の学校心理士が語る～

『なぜあの子たちはやらないのか？』

『どうすれば進んでやるのか？』

- 保護者の悩み① : ゲームを止めることができない子への支援
- 保護者の悩み② : 宿題に取り組むことができない子への支援
- 保護者の悩み③ : 片付けができない子への支援
- 保護者の悩み④ : 時間を守ることができない子への支援

(一般社団法人)障がい児成長支援協会 協会長

山内康彦(学校心理士・ガイダンスカウンセラー)

# こんな通知表見たことない！！

これが、講師の山内の小学校2年生の通知表です。

図 画 工 作	絵をかく 版画を作る		X	X	X				
	彫 塑 を作る								
	デザイン をする								
	工 作 をする								
	作品の美しさを味わう								
進歩のようす									
家 庭	技能が身についている								
	知識と理解力がある								
	実践力がある								
	進歩のようす								
体 育	運動のしかたを理解して正しくできる			○	○	○			
	きまりを守り協力する			X	X	X			
	健康安全に注意する								
	進歩のようす								
Ⅱ 教 科 の 評 定									
段 学 期	教 科	国 語	社 会	算 数	理 科	音 楽	図工 画 作	家 庭	体 育
	よ い								
	1	ふ つ う			○		○		
	もう少し	○	○		○		○	●	○
2	よ い								
	ふ つ う				●				
	もう少し	○	○	○	○	○	○		○
3	よ い								
	ふ つ う								
	もう少し	○	○	○	○	○	○		○

研究授業のときほど、他の先生が見  
 にまわるときは、大変は11叩って、  
 しっかり勉強できたのに、善断は注  
 意散漫です。やればできるだけの力  
 を拵っていますので、我がままを通  
 さないと、自分勝手な行動がおき  
 まるようになると思います  
 (7.19)

授業中のよそみ、年がぶりが多く、忘  
 れものをしてくると注意されるまで、知  
 りずらさず何もしないで遊んでいます。  
 強く叱られると、何んでもさささとやる  
 力を拵っていますので、自分からやろう  
 という気を拵ってくださるのを待っています  
 (12.26)

三学期のなか、ときどきですが、落ち着  
 いて、勉強できるときもありました。  
 わかろうな子で、好きなので、もう少し  
 自分の我がままをおさえることができれ  
 ば、ぐんぐん行ける子です  
 (3.26)

# なぜ私が二次障害を起こさなかったか？

×苦手な事や課題を克服するマイナスを埋める教育では、所詮頑張っても「0」

○得意なことや好きなことを伸ばしていくことで、マイナス面も高まっていく考え方が大切

(例) さかな君・トムクルーズ・ビルゲイツ

○ぼく(山内)にはたくさんの特技がある。

(サッカー・手品・ギター・スキー・船舶免許)

※自信→自己肯定感となっていく

※大きな花1つのタイプや小さな花の花束タイプ

# こんなぼくを受け入れてくれた 親や周りの大人に感謝！！

「やりなさい」ではなく「一緒にやろう！」

○プラレールの片付けができない時に・・・

○魚釣りを誘ってくれたお父さん

○手品を買って教えてくれたお父さん

○母はおやつで友だちをもてなし、いつも笑顔

# こんなぼくを受け入れてくれた 担任や校長先生に感謝！！

○僕を肩車して鬼ごっこしてくれた坪井先生

○大好きな理科の実験をしてくれたり、水泳の授業の時に潜水で25メートル泳いだ木村先生

○ギターを教えてくれた川瀬先生

何よりも、こんなぼくを「受け入れようとしてくれる気持ち」が態度で分かって嬉しかった。

「困った子」は「困っている子」

「困った子だ！」と嘆いている  
のは、大人の勝手な視点

☆実は一番困っているのは

**その子ども本人**

子どもの困り感に寄り添うこと

# 心理検査の活用

本来判定に使うためのものではない

☆K-A B C ・ K-A B C 2

☆田中ビネー

☆W I S C Ⅲ ・ W I S C Ⅳ

☆新版K式

個の知的特性等を把握し、その高低や  
バラツキからその子に合った支援を考  
える材料にするもの



# “障害”ではなく“タイプ”としてとらえて告知

昨年度から . . .

○自閉症スペクトラム障害 (ASD)

→ ◎自閉スペクトラム症

○注意欠陥多動性障害 (ADHD)

→ ◎注意欠如多動症

○学習障害 (LD)

→ ◎限局性学習症

※人にめいわくをかけると “障害” ？



# 最新の研究成果から(1)

自閉症の子どもたちは相手の気持ちを  
読み取ることができる？

「この大人は、自分を受け入れる気持ち  
がるかどうか？」を試してくる

◎受け入れてくれそう→大すき

▲受け入れる気持ちがない→大嫌い

※本当の専門性とは

「どんな大変な子も受け入れる姿勢！」

## 最新の研究成果から(2)

「10歳の壁」とは何か？

定型発達の子どもは、4～5歳で分かる  
知的に遅れのない自閉症は、10歳！

まわりのことがわかるようになってくる。

※告知をするにはよい時期と考える

→俺は馬鹿だ！ 死んだほうがいい！

※不登校が出てくる原因となる

# 叱られる子は負のスパイラルに陥っている

できない→叱られる→自信がなくなる  
→やらない→叱られる→ふてくされる  
→怒鳴られる→逃げる（反抗する）  
→もっともっと怒鳴られる

◆自己肯定感をなくしていく

「俺はどうせバカだから・・・」

「どうせ 私には できないし・・・」

「はじめから やらない方がいいや」

# ほめることでよいスパイラルに変えていく

できる→ほめられる→自信がつく→やる  
→またほめられる→もっともっとやる  
→どんどんできる→更にほめられる  
→より高い目標に向かって取り組む

## ◆自己肯定感を高めていく

「ぼくは、計算は得意なんだ。」

「調理が好きでコックさんになりたい」

「勉強は苦手だけどやさしい子です」

# 「通常の教育」と「特別支援教育」の違いを一言で表すと……

## 《通常の教育》

できないことへのチャレンジ教育

※今までのできた自信があるからできる。

## 《特別支援教育》

できることからの出発教育

※やらせでもよい。まずは、  
できた経験を沢山積むことで  
自信となり自己肯定感が高まる



# 子どもたちにやらせる方法(1)

行動を起こすときの条件から考える

1. 楽しい おもしろい やってみたい
2. できる わかる 上達する
3. ほめられる 表彰される
4. こわくない 安全

(例) 宿題をやらない理由と  
すすんで取り組ませるためには？

## 子どもたちにやらせる方法(2)

取り組ませ方の工夫

×親や先生が決める

- ・僕が決めたんじゃない

◎本人に選択させる

○選択するとは本人が決めたこと

○メリットとデメリットを事前に説明

×本人に考えさせる

- ・そうなるとは思わなかった
- ・わかっていたらやらなかった

# もぐら叩き教育はダメ パート I

## 幹を見て、本質、原則で指導方法を考える

□ 厳しくしかること・徹底すること

・ 大人だったら警察に捕まること

・ 人に迷惑をかけること

■ ゆるすこと・ある程度見逃すこと

・ 警察に捕まらない 迷惑をかけない

・ 本人だけの問題



# もぐら叩き教育はダメ パートⅡ

## 幹を見て、本質、原則で指導方法を考える

### □絶対にやらせること

- ・ 大人になったらやること

### ■ゆるすこと・ある程度見逃すこと

- ・ 大人になってやらないこと

保護者や指導者からのよくある  
お悩みについて具体例を通して  
お答えします

# ①「片付けが苦手な子」に対する支援方法

なぜ片付けることができないか？

×複数の指示が混在している

1 集める    2 分ける    3 整頓

この3つを分けて順に指導する

具体的には . . . . .

まず「集める」ことから始める

## ②「時間が守れない子」に対する支援方法

なぜ時間を守ることができないか？

×気持ちの切り替えが苦手

口の指示ではなく音楽を活用

園や学校も同じことをしている

具体的には . . . . .

気持ちを切り替える音楽を流す

### ③「友だちがいない子」に対する支援方法

なぜ友だちがいないのか？

×受け入れる子がいない

受け入れてくれる大人を創る

本人より若い周りが悪い！

具体的には . . . . .

まず、大人の友だちを増やす

## ④「ゲームを止めない子」に対する支援方法

なぜゲームを止められないか？

×事前の約束を決めていない

自分が決めたことは守らせる

甘やかせてはいけない

具体的には . . . . .

「ゲーム貯金」という指導法

## ⑤「行事に参加しない子」に対する支援方法

なぜ行事に参加できないか？

×周りの目 ×失敗する！

大人になってやらないことは

無理させる必要はない！！

大人になってやらないといけな  
いことを最優先して行わせる

保護者が苦情を言ってもダメ！！

モンスター？

医師や心理士（師）の意見書  
を学校に提出する

専門家とタッグを組んで学校に働きかけることによって「合理的配慮」をしてもらえる。

※学校との協力が重要です！！



# 大好評！「特別支援教育って何？」

本日の講演会の内容等全てが書かれています

WAVE出版 一冊1650円（税込）

→本日 一冊1500円（税込み）

